

# 令和4年度特定非営利活動に係る事業報告

特定非営利活動法人はあもにい

## 事業実施の方針

### 全体

令和4年度も設立理念はそのままに、発達及び知的障害の特性を抱えた当事者やその家族が、誤解や偏見を受けることなく、ありのままを認められ、受け入れられ、理解される環境（人・場所）を地域コミュニティの中に確立・構築していく（半径20キロ圏内からの真のノーマライゼーション社会の実現）ため、必要な支援（サービスの提供）及び普及・啓発活動を実施。

同時に、運営する就労継続支援A型事業所利用者たちの、法人内での一般就労の実現など、ソーシャルファーム化にも継続して取り組んだ。

本年度は主軸事業である就労継続支援A型事業において、福祉事業、就労事業ともに完全黒字化を目指し、福祉事業では受け入れ利用者増（年度内2名）、就労事業では収益性の高い事業への取り組み強化を実施。

そのために職員の目標管理を実施。法人目標である「売上を上げる」実現のために、それぞれが本年度具体的目標を掲げ、取り組んだ。

また、利用者においても、それぞれの目標を明確化させ、各自の成長をより促す支援を実施。

就労事業では、前年度に引き続きそれぞれの部門ごと売上数値目標を立てるだけでなく、達成に向けて部門ごと具体的な事業計画を作成、進行管理を実施。営業に関しては、賃金向上達成指導員だけでなく、理事を含む職員全員で取り組み成果を上げられるよう努めた。またそれに伴い、工房等生産現場では生産量出荷量等増加し、付随業務も増大するため、引き続き対応に向けて業務改善に取り組んだ（IT強化）。

当事者の働く場をさらに広げていくための資金確保として、積極的寄付募集の実施と認定NPO法人格取得のための取り組みも継続して実施。

## I 障害福祉サービス事業

### サービスの種類

#### 就労継続支援事業A型

### 事業所名

就労継続支援はあもにい

### 事業内容

（障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの就労継続支援事業A型を下記業務を通じて適切に実施する）

- 1 就労継続支援A型サービス提供（利用者たちの希望や適性特性にあった就労の場と機会の提供（一般就労含む）及びそれに付随する支援等提供）
- 2 就労継続支援A型個別支援計画作成
- 3 利用者負担額等の請求・受領事務
- 4 介護給付費請求・受領事務
- 5 利用者からの相談・苦情処理に関する業務

### 【福祉事業】

平成24年12月より、千葉市緑区土気町1727番地4を拠点とし、利用定員15名（雇用有10名・雇用なし5名）サービス提供を開始。

雇成型10名（令和4年4月現在利用者数10名）は主に菓子製造等食品製造業、飲食（カフェ）事業、事務広報等法人業務補助作業を行い、そのうち1名は令和2年4月より在宅就労支援を行っている。非雇成型7名（令和4年4月現在利用者数7名）は主に一次産業（養蜂及び農業）に従事している。

本年度は雇成型利用者3名の受け入れ、非雇成型1名の受け入れ、雇成型1名のステップアップ（一般就労）、非雇成型1名のステップアップ（雇成型）を計画。

令和4年度実績で、労働時間増や2期連続黒字化などで、スコア表130/200点獲得を目指す。職員の報酬増、より働きがいのある職場作りを目指し、処遇改善加算ⅢからⅡへの移行に向けて取り組みとともに職員の職場環境改善、キャリアアップ形成強化も実施していきたい。

### 【就労事業】

〈カフェ部門（フェアトレードカフェ&ショップ施設外就労及び出張販売・イベント催事販売）

指定管理者JVとして関わっている土気あすみが丘プラザ1Fロビーで、令和3年12月10日より千葉市初の「フェアトレードカフェ&ショップ」を自主事業として運営を開始。施設外就労として2名の利用者と1名の指導員が店舗運営にあたっている。フェアトレードの普及啓発、フェアトレードタウン活動推進の実施とともに、地域におけるはあもにいの認知も広げ、チャレンジドフェアトレード商品の積極的購入につなげていきたい。

今年度は出張販売、イベント催事販売数も増やし、部門の収益増を図るとともに、工房、養蜂部・農業部の商品売上増も目指す。

- ・特別支援学校出張販売（月1回程度）
- ・千葉いいもの販売会（年4回程度）
- ・ノウフクマルシェ
- ・ナイスハートバザール等

〈食品製造加工部門（お菓子工房はあもにい&はちみつ工房はあもにい）

主軸事業としての、チャレンジドフェアトレードサポーター会員（年3回商品お届け/10800円）の仕様を（年2回商品お届け/10000円）に変更。サポーターの皆様への充実した商品提供は損なうことなく、送料等支出削減と出荷作業負担削減を目指す。募集期間5月～10月で前年度187件⇒200件を目指す。

OEM製品製造の受託数量増。年間及び月間の生産スケジュール管理をしっかりと行い、受託数量増の仕組みを作る。

返礼品を含む産直ギフト取引先増。6月からナチュラル&フューネラル様返礼品産直ギフト事業

スタート等。

引き続き販路拡大のため、以下の展示商談会等参加。

- ・スーパーマーケットトレードショー等

〈一次生産部門（はあもにい養蜂部&農業部）

養蜂部は土気あすみが丘プラザでの「みつばちプロジェクト」実施。農業部は地元生産者の方たちの畑での農作業受託実施。屋内作業は平山（本部所在地）で実施。

引き続き作業報酬として、現金以外に収穫物を受け取り、工房で加工製造販売をすることにより、収益性向上を図る。

〈事務及び広報部門(はあもにい広報部&事務部)〉  
高機能発達障害者や精神障害者が主に業務を担っている。将来的には事務局に発展させ、A型利用者から法人内一般就労へのステップアップを希望者全員目指せる部署に育てていくことを目指す。

本年度はオンラインショップ運営強化を担い、商品ページのアップ、SNS発信、受発注管理などに

取り組み、月額売上100000円⇒200000円を目指す。

Ⅱグループホーム事業⇒前年度継続

Ⅲ福祉人材育成事業⇒前年度継続(城西国際大学元教授・福田 順子先生、行政書士佐々木あづ さ先生)に研修講師依頼)

Ⅳ相談支援事業⇒前年度継続

Ⅴ普及啓発活動⇒前年度継続

※認定NPO法人格取得のための取り組み強化。